2019年度日本型教育の海外展開推進事業（EDU-Portニッポン）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　パイロット事業　提案内容

# 事業名・事業概要

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名称（50字以内） |  |
| 事業概要（200字以内） |  |

# 応募タイプ

|  |  |
| --- | --- |
| 応募タイプ | いずれかに○ |
| 公認プロジェクト（経費支援あり） |  |
| 応援プロジェクト（経費支援なし） |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 公認プロジェクトが不採択の場合 | いずれかに○ |
| 応援プロジェクトとしてプロジェクトを遂行する意思があるかどうか。 | 遂行する（　　　）　　辞退する（　　　） |

# 提案のポイント

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No. | 必須要件 | 本提案との対応（各項目必ず記載、200字以内） |
| 1 | 相手国のニーズを踏まえ、それに応える教育事業であること。 |  |
| 2 | どのような点が日本型教育であるのか、その良い点を相手国において、日本型教育として展開しているか |  |
| 3 | 民間機関や教育機関による既存の海外展開活動や開発援助プロジェクト等が直面している課題の改善に資する展開モデルであること。 |  |
| 4 | 相手国カウンターパートの協力確保が見通されている内容であること。 |  |

|  |
| --- |
| 以下の加点要素について、特にアピールできる点（200字以内）● 国立大学法人、公立大学法人、学校法人、地方公共団体、地方教育委員会や独立行政法人をパートナーに含め、これらの機関の国際化にもあわせて資することを目的とする展開モデルであること。● 本公募事業終了後の自立的な事業継続を見込む内容であること。● 新しい教育モデル（イノベーション）の提案など、これまでの日本型教育をさらに発展させるうえで活用できる事業であること。● SDGsへの貢献が期待される内容であること（EDU-Portニッポンは、わが国の「SDGsアクションプラン2019」に位置付けられている）。● スポーツ、文化、保健等、複数分野にまたがる横断的な内容を包摂すること。 |
|  |

＜提案内容と「重点テーマ」「実現の手法」との対応＞　※公認プロジェクト枠で応募する場合のみ記載

|  |
| --- |
| 該当する「重点テーマ」　※該当する項目を全てチェック（☑）すること。※学校教育に関連して民間機関が実施する取組も含む。 |
| **＜初等中等教育段階（就学前教育を含む）＞**□指導方法（主体的・対話的で深い学び 等）・内容（数学・理科・音楽・体育等の教科、特別活動、防災教育・環境教育等の教科横断的な内容 等）□教員・指導者養成システム（養成・採用・研修を通じた一体的取組　等）□教育コンテンツ（デジタルコンテンツ、教材・教具を含む）の海外展開**＜高等教育分野（高等専門学校・専修学校を含む）＞**□理工系教育（ものづくり、技術者教育 等）□法学教育（公法、商取引法 等）□実学教育（メディアアート、デザイン、ファッション、スポーツ、ヘルスケア 等）□高等教育・職業教育の海外展開□その他　→下欄に具体的内容を記載 |

|  |
| --- |
| 該当する「実現の手法」　※該当する項目を全てチェック（☑）すること。　　 |
| □現地NGO機関との連携□国際機関との連携□現地日本人会・日系企業との連携□産学官の協働□国際教育協力の資産の継承・発展□在外教育施設の活用□専門家や研究者の派遣、学生・研修生等の双方向交流□地域社会との連携やコミュニティラーニングの促進□新しい教育モデル（イノベーション）□ICTの活用 | □その他　→下欄に具体的内容を記載 |
|  |

|  |  |
| --- | --- |
| 該当する「重点テーマ」「実現の手法」と事業内容の対応 |  |

（注）上記でチェックした「重点テーマ」「実現の手法」が、提案内容とどのように対応しているのか、簡潔に示すこと。

# 事業の目標（対象国・地域と解決したい課題）

|  |  |
| --- | --- |
| 対象国・地域 | 目標（解決したい課題・想定される受益者についても記載） |
|  |  |

# 展開する事業内容・成果

## 2019年度

## 2020年度

## 「日本型教育の海外展開推進事業（EDU-Portニッポン）」による支援期間終了後（2021年以降）　　の事業の継続性

# EDU-Portニッポンの成果目標との対応

## EDU-Portニッポンが掲げる成果指標に対する本提案事業の目標値

**＜成果目標：日本の教育の国際化＞**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 成果指標 | データ | 目標値 |
| 2019年度中 | 2020年度中 |
| 本パイロット事業に参加した**日本側の**教員、職員、指導者および学生・生徒・児童・園児の数 | 教員数（人） |  |  |
| 職員数（人） |  |  |
| 指導者数（人） |  |  |
| 学生・生徒・児童・園児数（人） |  |  |
| その他関係者（人） |  |  |
| 合計（人） |  |  |

**＜成果目標：親日層の拡大＞**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 成果指標 | データ | 目標値 |
| 2019年度中 | 2020年度中 |
| 本パイロット事業に参加した相手国側の教員、職員、指導者および学生・生徒・児童・園児の数 | 教員数（人） |  |  |
| 職員数（人） |  |  |
| 指導者数（人） |  |  |
| 学生・生徒・児童・園児数（人） |  |  |
| その他関係者（人） |  |  |
| 合計（人） |  |  |

**＜成果目標：日本の経済成長への還元＞**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 成果指標 | データ | 目標値 |
| 2019年度中 | 2020年度中 |
| 本パイロット事業に参加した民間事業者数 | 日本の事業者数（社） |  |  |
| 海外の事業者数（社） |  |  |

## 上記以外で期待される効果（アウトカム）

|  |  |
| --- | --- |
| 成果目標 | 本事業で期待される効果 |
| 日本の教育の国際化 | 例）日本の教育機関のカリキュラムの国際通用性が向上する、教職員の資質が向上する、グローバル人材育成に資するなど |
| 親日層の拡大 | 例）SDGsに～の点で貢献するなど |
| 日本の経済成長への還元 | 例）本パイロット事業で養成された人材が現地日系企業に就職する、進出した教育関連企業の収益が上がるなど |

# 事業の実施体制

# スケジュール

## 2019～2020年度中

|  |  |
| --- | --- |
| 実施項目 | 2019年度 |
| 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 実施項目 | 2020年度 |
| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

## 2021年度以降

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 実施項目 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度以降 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

# 【参考１】パイロット事業に期待する支援内容（200字以内）

# 【参考２】採択後の新たな挑戦（200字以内）